

レジリエント・シティの取組に係るこれまでの取組及び今後の取組予定について

時期等	実施・取組内容
2月 8日	アジェンダセッティング（課題設定）・ワークショップ開催
4月 1日	藤田裕之前副市長をレジリエント・シティ京都市統括監（CRO）に任命
4月 26日	第1回京都市レジリエンス推進本部会議開催
フェーズ1 戦略策定過程前半（ディスカバリーエリア確定まで）	
5月 8日～10日	フェーズ1 キックオフミーティングの開催 CRO（事務局含む。）、100RC 及びアラップ社（戦略パートナー）の三者により本市で実施。レジリエンス戦略策定に向けた具体的な作業内容の確認と今後の取組のスケジュールを設定
7月 23日～27日	100RC グローバルサミットへの出席（藤田 CRO 参加）（ニューヨーク）
10月4日	第2回京都市レジリエンス推進本部会議開催
10月中	〔・本市の現在のレジリエンス状態を記載した「初期レジリエンス評価書(PRA:Preliminary Resilience Assessment)」の作成〕
	フェーズ2に向けた準備 ・ワーキンググループに向けた関係局区等との調整
フェーズ2 戦略策定過程後半（戦略策定まで）	
10月～2月	ディスカバリーエリアごとの取組 ・ ディスカバリーエリアごとに、関係局区等の職員と外部関係者からなるワーキンググループ（以下「WG」という。）を編成 ・ WGごとに、レジリエンスの観点から現在の政策等について再点検、分析等を行い、「不足している」、あるいは「欠けている」視点を洗い出し、それらを補うために必要な取組等（京都市レジリエンス戦略に盛り込む内容）を整理
1月下旬頃	市民フォーラム（仮）開催
3月	京都市レジリエンス戦略素案の取りまとめ、骨子の公表
（平成30年度） 4月～6月頃	素案に対する各方面からの意見聴取、パブリックコメント等
7月頃	京都市レジリエンス戦略策定
戦略策定後	レジリエンス戦略の実行 ・ 市民等への周知 ・ 本市各部局等との調整 （レジリエンスの考え方を政策に取り入れるなど） ・ その他、レジリエンスの考え方の普及に必要な取組 等

※ 年度を通じて随時、CRO による関係団体、関係機関等とのレジリエンスに関する対話（レジリエント・シティの取組についての説明）を推進【資料5参照】